



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月5日

上場会社名 日本郵船株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9101 URL <https://www.nyk.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 貴也  
問合せ先責任者 (役職名) IRグループ長 (氏名) 岡田 泰章 TEL 03-3284-5151  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト及び機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,976,959	10.5	178,149	23.5	436,429	117.9	395,485	157.5
2024年3月期第3四半期	1,789,217	△12.7	144,271	△42.2	200,265	△80.1	153,574	△83.3

(注) 包括利益2025年3月期第3四半期 471,696百万円 (54.6%) 2024年3月期第3四半期 305,029百万円 (△71.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2025年3月期第3四半期	円 銭 878.46	円 銭 —
2024年3月期第3四半期	309.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,430,962	2,965,027	65.9
2024年3月期	4,254,770	2,693,365	62.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 2,919,033百万円 2024年3月期 2,650,371百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	60.00	—	80.00	140.00
2025年3月期	—	130.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	180.00	310.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,580,000	8.1	210,000	20.2	480,000	83.7	450,000	96.8	1,005.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	461,000,000株	2024年3月期	510,165,294株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	22,932,264株	2024年3月期	51,027,775株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	450,202,872株	2024年3月期3Q	495,570,962株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提：

為替レート（第4四半期連結会計期間）154.00円/US\$、（通期）152.71円/US\$

燃料油価格 ※（第4四半期連結会計期間）US\$556.87/MT、（通期）US\$607.92/MT

※ 全油種平均消費燃料油価格を基に算出

本業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2～6ページを参照してください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は2025年2月5日にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。同説明会の動画や資料等につきましては、速やかに当社ウェブサイト (<https://www.nyk.com/ir/library/result/2024/>) に掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(会計方針の変更に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	13
3. その他の情報 .....	14
(1) 四半期毎の業績の推移 .....	14
(2) 為替情報 .....	14
(3) 有利子負債残高 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(単位:億円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	17,892	19,769	1,877	10.5%
営業利益	1,442	1,781	338	23.5%
経常利益	2,002	4,364	2,361	117.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,535	3,954	2,419	157.5%

当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日から2024年12月31日までの9ヶ月間）の業績は、売上高1兆9,769億円（前年同期比1,877億円増）、営業利益1,781億円（前年同期比338億円増）、経常利益4,364億円（前年同期比2,361億円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,954億円（前年同期比2,419億円増）となりました。

なお、営業外収益で持分法による投資利益として2,631億円を計上しました。うち、当社持分法適用会社 OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD.（“ONE社”）からの持分法による投資利益計上額は2,284億円となります。

当第3四半期連結累計期間の為替レートと消費燃料油価格の変動は以下のとおりです。

	前第3四半期 (9ヶ月)	当第3四半期 (9ヶ月)	差額
平均為替レート	142.86円/US\$	152.27円/US\$	9.41円 円安
平均消費燃料油価格	US\$617.70/MT	US\$624.74/MT	US\$7.05高

(注) 為替レート・消費燃料油価格とも、当社社内値です。

## (セグメント別概況)

当第3四半期連結累計期間のセグメント別概況は以下のとおりです。

(単位：億円)

		売上高				経常利益		
		前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額
ロ ジ ス テ ィ & ク ス 事 業	定期船事業	1,530	1,370	△159	△10.4%	453	2,502	2,048
	航空運送事業	1,226	1,420	193	15.8%	52	190	138
	物流事業	5,203	6,144	941	18.1%	210	207	△3
自動車事業		3,747	4,057	310	8.3%	879	916	36
ドライバルク事業		4,235	4,756	520	12.3%	162	218	55
エネルギー事業		1,283	1,349	66	5.2%	331	323	△7
その他事業		1,657	1,538	△118	△7.1%	7	70	62

当社グループにおける経営管理体制の一部見直しに伴い、報告セグメントについて再考した結果、従来の「不定期専用船事業」を、「自動車事業」「ドライバルク事業」「エネルギー事業」に分割して表示する方法に変更しています。また、「不動産業」については、その相対的な事業規模を勘案し、「その他事業」に含めて表示する方法に変更しています。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後の区分に合わせて組替再表示しています。

#### <定期船事業>

コンテナ船部門：新造船竣工による船舶供給量の増加は続いたものの、堅調な荷動きや紅海情勢および港湾混雑等に起因する需給の逼迫がみられました。市況は第2四半期をピークに第3四半期に向かって軟化しましたが、前年同期を上回りました。

ONE社においても、前年同期比で運賃、取扱量共に上昇した結果、利益水準は前年同期を大幅に上回りました。

ターミナル関連部門：国内ターミナルでは、前年同期比で取扱量はほぼ横ばいとなりました。

海外ターミナルでは、2023年9月末に北米西岸ターミナルの関係会社株式を売却した影響により、前年同期比で取扱量が減少しました。

以上の結果、定期船事業全体では前年同期比で減収増益となりました。

#### <航空運送事業>

主としてアジア発欧米向けの旺盛なEコマース需要や、半導体製造装置、自動車関連貨物の需要に支えられ、貨物取扱量は前年同期比で増加しました。また、需給の引き締めにより運賃単価についても高い水準で推移しました。他方、燃料単価については前年同期比で下落しました。

以上の結果、航空運送事業では前年同期比で増収増益となりました。

#### <物流事業>

航空貨物取扱事業：アジア発の活発な荷動きに加え、需要期となる第3四半期を中心にスポット貨物の増加が見られ、取扱量は前年同期比で増加しました。

海上貨物取扱事業：アジア域内航路を中心とした堅調な荷動きに加え、米国東岸の労使交渉や欧米における関税引き上げ懸念による出荷の前倒し需要が発生したため、取扱量は前年同期比で増加しました。

ロジスティクス事業：欧州と東アジアにおける荷動きの減速が見られたものの、他地域での堅調な収益に支えられ、一定程度の利益水準を確保しました。

以上の結果、物流事業全体では前年同期比で増収減益となりました。

#### <自動車事業>

海上輸送においては、中東情勢の影響等による港湾混雑や航路変更が継続する中、最適な配船計画と本船運航により堅調な輸送需要を取り込みました。

自動車物流においては、ターミナル事業を中心に旺盛な需要を取り込むことで業績は堅調に推移しました。

以上の結果、自動車事業全体では前年同期比で増収増益となりました。

#### <ドライバルク事業>

ケープサイズ：市況は第3四半期において12月を中心に軟化しましたが、好調だった第1四半期および第2四半期に支えられ、前年同期を上回りました。

パナマックスサイズ以下：ケープサイズと同様に市況は年末に向かって軟化しましたが、好調だった第1四半期および第2四半期に支えられ、前年同期を上回りました。

以上の結果、ドライバルク事業全体では前年同期比で増収増益となりました。

#### <エネルギー事業>

VLCC（大型原油タンカー）：第3四半期における中国での需要減退を受け、市況は前年同期を下回りました。また、入渠船増加により稼働率が低下しました。

VLGC（大型LPGタンカー）：米国からアジア地域への長距離輸送が増加しましたが、新造船の竣工やパナマ運河の渇水の影響が緩和したことに伴う船腹供給の増加により、市況は前年同期を下回りました。

石油製品タンカー：第3四半期における中国での需要減退を受け、市況は前年同期を下回りました。

LNG船：安定的な収益を生む中長期契約に支えられて順調に推移しました。

海洋事業：FPSO（浮体式海洋石油・ガス生産貯蔵積出設備）、ドリルシップ、シャトルタンカーが安定的に推移しました。

以上の結果、エネルギー事業全体では前年同期比で増収減益となりました。

#### <その他事業>

船舶・技術事業：燃料油販売事業が販売数量の減少に伴い低調に推移しました。

客船事業：世界一周クルーズを6年ぶりに再開しました。また、夏季および第3四半期のクルーズで全体として高い乗船率を維持しました。

以上の結果、その他事業全体では前年同期比で減収増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,761億円増加し、4兆4,309億円となりました。有利子負債は短期借入金の減少等により1,368億円減少して7,769億円となり、負債合計額も前連結会計年度末に比べ954億円減少し、1兆4,659億円となりました。純資産の部では、利益剰余金が1,056億円増加し、株主資本とその他の包括利益累計額の合計である自己資本が2兆9,190億円となり、これに非支配株主持分459億円を加えた純資産の合計は2兆9,650億円となりました。これらにより、有利子負債自己資本比率(D/Eレシオ)は0.27に、また自己資本比率は65.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## ①連結業績予想

## &lt;定期船事業&gt;

コンテナ船部門：短期運賃は年度末にかけて下落していくことを想定していますが、第3四半期の市況および利益水準が前回の想定より良化したことから、通期の利益水準も前回予想を上回る見込みです。

## &lt;航空運送事業&gt;

2024年6月10日付の適時開示のとおり、日本貨物航空株式会社とANAホールディングス株式会社との株式交換は2025年3月31日(予定)を効力発生日としており、同日をもって日本貨物航空株式会社は当社連結子会社から除外され、ANAホールディングス株式会社の完全子会社となります。

第3四半期に見られた旺盛な貨物需要に支えられ、通期の利益水準は前回予想を上回る見込みです。

## &lt;物流事業&gt;

航空貨物取扱事業：前回予想と同程度の利益水準を見込んでいます。

海上貨物取扱事業：市況は軟化していますが、第4四半期後半において需要の増加が想定され、前回予想と同程度の利益水準を見込んでいます。

ロジスティクス事業：前回予想と同程度の利益水準を見込んでいます。

## &lt;自動車事業&gt;

堅調な輸送需要を背景に、前回予想と同程度の利益水準を見込んでいます。

## &lt;ドライバルク事業&gt;

全船型について市況は前回想定を下回る見通しですが、第3四半期における為替変動の影響等により、通期の利益水準は前回予想を上回る見込みです。

## &lt;エネルギー事業&gt;

VLCC：中国での需要減等を踏まえ、市況は前回想定を下回る見込みです。

VLGC：船腹供給の増加により、市況は前回想定を下回る見込みです。

LNG船：中長期契約による安定収益に加え、為替影響等により利益水準は前回予想を上回る見込みです。

以上に鑑み、通期の業績予想を以下のとおり見直しました。

(単位：億円)

2025年3月期 連結業績予想	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回 (2024年11月6日)	25,400	2,000	4,100	3,900
今回予想	25,800	2,100	4,800	4,500
通期 増減額	400	100	700	600
増減率 (%)	1.6%	5.0%	17.1%	15.4%

業績予想の前提：

為替レート (第4四半期連結会計期間) 154.00円/US\$、(通期) 152.71円/US\$

燃料油価格 ※ (第4四半期連結会計期間) US\$556.87/MT、(通期) US\$607.92/MT

※ 全油種平均消費燃料油価格を基に算出

## ②配当予想

当社は株主の皆様への安定的な利益還元を経営上の最重要課題の一つとして位置付け、連結配当性向30%を目安に1株あたりの配当下限金額を年間100円として、業績の見通し等を総合的に勘案して利益配分を決定します。また、投資機会と事業環境を勘案したうえで、自己株式の取得を含む機動的な追加還元策の実施を判断します。

この方針に基づき、当事業年度の間配当金は1株あたり130円にて実施しました。また期末配当金は前回予想から1株あたり50円引き上げて1株あたり180円、年間配当金を1株あたり310円とする予定です。

また自己株式の取得については、取得価額の総額(上限)を1,300億円、取得する株式の総数(上限)を35百万株、株式取得期間を2024年5月9日から2025年4月30日として実施することを決定し、2025年1月末時点までに25,815,800株を取得完了しています。取得した自己株式は全株消却することを決定しています。なお、当事業年度の期末配当金は、2025年1月末までに取得した自己株式を除いた株式数に基づくものです。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	156,163	160,737
受取手形、営業未収入金及び契約資産	354,656	396,565
棚卸資産	69,886	67,231
繰延及び前払費用	29,862	40,972
その他	96,857	92,729
貸倒引当金	△3,909	△3,401
流動資産合計	703,517	754,835
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	787,035	756,378
建物及び構築物（純額）	149,154	167,556
航空機（純額）	90,273	84,139
機械装置及び運搬具（純額）	29,678	33,502
器具及び備品（純額）	8,367	9,666
土地	75,747	75,661
建設仮勘定	223,454	167,515
その他（純額）	9,417	8,780
有形固定資産合計	1,373,126	1,303,201
無形固定資産		
借地権	5,599	5,728
ソフトウェア	7,443	7,311
のれん	27,743	25,945
その他	12,518	12,878
無形固定資産合計	53,305	51,863
投資その他の資産		
投資有価証券	1,813,157	2,009,268
長期貸付金	51,671	39,265
退職給付に係る資産	186,211	185,370
繰延税金資産	7,717	9,678
その他	71,496	82,900
貸倒引当金	△5,671	△5,732
投資その他の資産合計	2,124,582	2,320,750
固定資産合計	3,551,014	3,675,815
繰延資産	238	311
資産合計	4,254,770	4,430,962

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	228,287	246,848
1年内償還予定の社債	33,000	—
短期借入金	194,716	106,467
コマーシャル・ペーパー	53,000	—
リース債務	22,649	22,842
未払法人税等	15,282	21,942
契約負債	53,430	59,829
賞与引当金	17,502	13,481
役員賞与引当金	434	381
株式給付引当金	258	394
契約損失引当金	213	789
その他	125,779	130,010
流動負債合計	744,554	602,988
固定負債		
社債	74,000	99,000
長期借入金	461,294	457,799
リース債務	75,145	90,806
繰延税金負債	120,575	133,336
退職給付に係る負債	16,086	16,790
役員退職慰労引当金	895	781
株式給付引当金	116	—
特別修繕引当金	28,225	28,317
契約損失引当金	5,425	4,344
事業再編関連引当金	276	74
その他	34,808	31,694
固定負債合計	816,850	862,946
負債合計	1,561,404	1,465,935
純資産の部		
株主資本		
資本金	144,319	144,319
資本剰余金	45,099	43,711
利益剰余金	2,105,521	2,211,154
自己株式	△203,595	△109,434
株主資本合計	2,091,344	2,289,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,800	57,127
繰延ヘッジ損益	8,014	8,902
為替換算調整勘定	407,345	481,202
退職給付に係る調整累計額	92,866	82,048
その他の包括利益累計額合計	559,026	629,282
非支配株主持分	42,993	45,993
純資産合計	2,693,365	2,965,027
負債純資産合計	4,254,770	4,430,962

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,789,217	1,976,959
売上原価	1,465,753	1,608,861
売上総利益	323,464	368,098
販売費及び一般管理費	179,193	189,949
営業利益	144,271	178,149
営業外収益		
受取利息	3,855	4,996
受取配当金	7,666	7,190
持分法による投資利益	66,419	263,178
その他	4,780	7,096
営業外収益合計	82,722	282,461
営業外費用		
支払利息	10,202	15,735
為替差損	12,651	6,487
その他	3,873	1,957
営業外費用合計	26,727	24,181
経常利益	200,265	436,429
特別利益		
固定資産売却益	14,608	13,006
その他	19,731	2,855
特別利益合計	34,339	15,862
特別損失		
固定資産売却損	475	20
関係会社株式売却損	829	3,108
その他	1,675	1,069
特別損失合計	2,980	4,198
税金等調整前四半期純利益	231,625	448,093
法人税等	72,625	47,896
四半期純利益	158,999	400,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,424	4,710
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,574	395,485

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	158,999	400,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,373	6,391
繰延ヘッジ損益	△122	4,468
為替換算調整勘定	22,150	18,466
退職給付に係る調整額	△3,231	△10,840
持分法適用会社に対する持分相当額	111,859	53,014
その他の包括利益合計	146,030	71,500
四半期包括利益	305,029	471,696
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,939	465,732
非支配株主に係る四半期包括利益	7,090	5,964

### （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。

これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。

これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ライナー&ロジスティクス事業			自動車事業	ドライバルク事業	エネルギー事業	その他事業	計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	定期船事業	航空運送事業	物流事業							
売上高										
(1) 外部顧客に対する売上高	148,632	117,546	518,175	374,461	418,681	128,238	83,481	1,789,217	—	1,789,217
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,403	5,141	2,154	281	4,859	127	82,236	99,204	△99,204	—
計	153,035	122,688	520,329	374,743	423,540	128,366	165,718	1,888,422	△99,204	1,789,217
セグメント利益又は損失(△)	45,364	5,273	21,066	87,995	16,297	33,113	781	209,892	△9,626	200,265

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高に係る調整44百万円、全社費用△9,671百万円です。なお、全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用です。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ライナー&ロジスティクス事業			自動車事業	ドライバルク事業	エネルギー事業	その他事業	計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	定期船事業	航空運送事業	物流事業							
売上高										
(1) 外部顧客に対する売上高	132,603	137,047	611,924	405,394	471,372	134,630	83,985	1,976,959	—	1,976,959
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,463	5,035	2,574	394	4,257	350	69,902	86,978	△86,978	—
計	137,066	142,083	614,499	405,789	475,629	134,981	153,887	2,063,937	△86,978	1,976,959
セグメント利益又は損失(△)	250,250	19,086	20,722	91,673	21,883	32,385	7,040	443,042	△6,612	436,429

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高に係る調整47百万円、全社費用△6,659百万円です。なお、全社費用は、特定のセグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用です。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループにおける経営管理体制の一部見直しに伴い、報告セグメントについて再考した結果、従来の「不定期専用船事業」を、「自動車事業」「ドライバルク事業」「エネルギー事業」に分割して表示する方法に変更しています。また、「不動産業」については、その相対的な事業規模を勘案し、「その他事業」に含めて表示する方法に変更しています。

これに伴い、前第3四半期連結累計期間の数値を変更後の区分に合わせて組替再表示しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	104,779百万円	114,543百万円

## 3. その他の情報

## (1) 四半期毎の業績の推移

当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自 2024年4月1日 至 2024年6月30日	自 2024年7月1日 至 2024年9月30日	自 2024年10月1日 至 2024年12月31日	自 2025年1月1日 至 2025年3月31日
売上高	百万円 651,714	百万円 665,101	百万円 660,143	百万円
営業損益	65,878	49,749	62,521	
経常損益	125,787	163,452	147,189	
親会社株主に帰属する 四半期純損益	110,234	155,658	129,593	
総資産	4,336,689	4,178,867	4,430,962	
純資産	2,884,436	2,824,013	2,965,027	

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自 2023年4月1日 至 2023年6月30日	自 2023年7月1日 至 2023年9月30日	自 2023年10月1日 至 2023年12月31日	自 2024年1月1日 至 2024年3月31日
売上高	百万円 567,515	百万円 600,819	百万円 620,882	百万円 598,022
営業損益	47,103	51,683	45,484	30,408
経常損益	89,403	69,893	40,968	61,075
親会社株主に帰属する 四半期純損益	73,490	39,899	40,184	75,028
総資産	3,950,363	4,018,960	3,995,334	4,254,770
純資産	2,637,096	2,688,714	2,563,952	2,693,365

(注) 上記各四半期毎の業績(売上高・営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する四半期純損益)は、第1四半期連結累計期間、6ヶ月間累計(第2四半期連結累計期間)、9ヶ月間累計(第3四半期連結累計期間)、12ヶ月間累計(通期)の各数値をベースとして差し引きすることにより算出しています。

## (2) 為替情報

	前第3四半期 (2023年12月期)	当第3四半期 (2024年12月期)	差額	前期 (2024年3月期)
期中平均レート	142.86円/US\$	152.27円/US\$	9.41円 円安	143.82円/US\$
期末レート	141.83円/US\$	158.18円/US\$	16.35円 円安	151.41円/US\$

## (3) 有利子負債残高

(単位: 百万円)

	前期 (2024年3月期)	当第3四半期 (2024年12月期)	増減
借入金	656,010	564,266	△91,744
社債	107,000	99,000	△8,000
コマーシャル・ペーパー	53,000	—	△53,000
リース債務	97,795	113,649	15,854
合計	913,806	776,916	△136,889